

あなたにオススメの 休日の過ごし方はコレだ！



A のANATAは…

上質なものが好き、だけどちょっとだけ人とは違う特別感や、珍しいものに惹かれる、少し変化球がお好みの「通」なANATA(あなた)にオススメなのが、「ひなたのバロック#6」。誰もが知るあのバッハが、こんな可笑しな世俗カンタータを作曲していたなんて! 宮崎でもあまり聴く機会のない「コーヒー・カンタータ」を、超一流の奏者たちが、今回はちょっぴり演出も効かせて演奏します。「いやー、あの伝説のコンサート、あれ実は生で聴いたんだよねー。やー、最高だったなー」と後々まで自慢できちゃいますよ! ちなみに、バッハの残した楽譜に書かれているコーヒー・カンタータの本当のタイトルは「シュレンドリアン」(「旧弊な人」の意)。パルトンが歌う、お父さん役の名前です。ANATAならきっと、そんな旧弊なシュレンドリアンを軽やかに出し抜く、コーヒー好き娘リースヒェンのように、この斬新なコンサートを心から楽しめることでしょう。もちろん歌手は前半にも活躍しますよ。

B の貴方は…

バロック音楽が好きで、父も好き。そんなBrandenburgische Konzerteな貴方にオススメなのが、「ひなたのバロック#6」。バロックにとどまらず、全クラシック音楽界の最高峰として燦然と輝く「音楽の父」! たいいてい音楽室の一番左側の方に肖像画が飾られてる! そう、それが、J.S.バッハ! そんな、誰もが知るバッハ作品の中でも「王道」中の王道が、「ブランデンブルク協奏曲」。特に今回演奏される第5番は、チェンバロが大活躍し、実質、音楽史上初のチェンバロ協奏曲のようなもの。後世に脈々と続くクラシック音楽の系譜を堪能するのにピッタリのコンサートです。え? 音楽も父も好きじゃないのにBになった? 大丈夫、睡眠不足な貴方には、心地よい音楽に身も心も包まれながら、次第に穏やかな気持ちで夢の世界に浸っていただいても良いんです。同じくバッハの有名曲「ゴルトベルク変奏曲」なんて、不眠症に悩む伯爵のために演奏されたという逸話があるくらいですから。

C のあなたは…

音楽は好きだけど、クラシックとか難しそうなのはちょっと苦手…。でも、楽しいことや美味しいもの、オシャレでセンスの良い人たちが集まるカフェに行くのも大好き! そんなCoffee Cantataなあなたにオススメなのが、「ひなたのバロック#6」。なにせ、コーヒー大好きな娘さんが、「コーヒー! コーヒー! コーヒー無しじゃ、やってけない!」とか「もし日に三度のコーヒーが飲めなかったら、ひからびたヤギ肉みたいなっちゃう!」とか歌い続けるという、コーヒー好きのアンセム(聖歌、賛歌)とも言うべき「コーヒー・カンタータ」をたっぷり堪能できるだけでなく、なんとあの人気店「恋史郎コーヒー」さんとのコラボで、短いトークなども予定されているのだから! この機会に興味ある世界を少し深めてみるのも良いかも知れません。コンサート後の一杯は、また格別な味わいとなることでしょう。ベートーヴェンみたいに、豆を60粒数えたくなるかも?

H のアナタは…

少しお疲れ気味? なアナタには、Humour(ユーモア)溢れる「ひなたのバロック#6」がオススメ! コーヒー・カンタータは、世俗カンタータというジャンルに分類されますが、内容は小喜劇劇と言って良いものです。あのバッハの「喜劇」ですよ! アナタももしかして、お疲れで眉間に皺が寄っているかもしれませんが、音楽室にいるバッハとか、めっちゃ、しかめ面ですよ。真面目そうな、あの顔で、この「コーヒー! コーヒー!」ってひたすら言うてるドタバタ喜劇(曲)を作ったと思うと、なんだか尚更に可笑しくなってきます。心地良い音楽、最高の演奏、興味深いトーク、珈琲の良い香りに包まれて、楽しく笑える時間を過ごしたら、もしかしたら疲れもとれて、気持ち良くなれるかも知れないし、深みにはまる何かに目覚めるかも知れない。生きる気力がより強まってくるかも知れません。そんな五感で楽しめる「ひなたのバロック#6」に、騙されたと思って是非、いらしてみてください。

(※個人の意見です)

ひなたのバロック #6

HINATA no BAROQUE

2025年3月2日

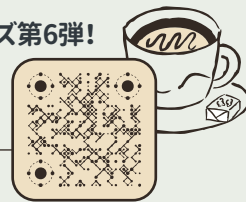
開場 13:30 開演 14:00
宮崎市民プラザ オルブライトホール
(〒880-0001 宮崎市橘通西1丁目1-2)



過去公演の様子

「五感で楽しむ」コンサートシリーズ第6弾!

公演の詳細はこちら▶



● チケット〈全席自由/前売価格〉
一般 2,000円 (会員 1,800円)
U25 割 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※当日券が出る場合は500円増しとなります。

● 曲目
J.S.バッハ
ブランデンブルク協奏曲第5番
コーヒー・カンタータ ほか

※都合によりプログラムが変更になる場合がございます。

● 出演
大塚直哉 (企画・監修/チェンバロ)
桐山建志、大西律子 (バロック・ヴァイオリン)
廣海史帆 (バロック・ヴィオラ)
西沢央子 (バロック・チェロ) 佐藤裕希恵 (ソプラノ)
栗田涼子 (ヴィオローネ) 藤井雄介 (テノール)
戸高美穂 (フラウト・トラヴェルソ) 小池優介 (バリトン)